

TEMM19の成果

(TEMM19の成果)

1. 各分野の活動の進展及び今後も協調的な取組を継続・拡大することを確認。(下記参照)
2. 持続可能な開発のための2030アジェンダの重要性を認識し、「環境側面からのSDGs達成のための三カ国共同研究」を立ち上げることに合意。
3. ヒアリを含む外来種対策が東アジアにおいて喫緊の課題であるとの認識を共有し、ベストプラクティス等の共有を進めることを確認。

「三カ国共同行動計画(2015～2019)」に基づく協力プロジェクトの進展の確認

(共同行動計画に盛り込まれた優先9分野)

大気環境改善 生物多様性 化学物質管理と環境に係る緊急時対応
資源循環利用/3R/電気電子機器の越境移動 気候変動対策 水及び海洋環境保全
環境教育、人々の意識向上及び企業の社会的責任 地方環境管理 グリーン経済への移行

(個別分野の主な進展)

1. 大気汚染問題について、PM2.5等に関する政策及び技術について情報交換を実施。今後、PM2.5等の主な原因物質であるVOCの排出削減対策等に関する日本の知見・技術の提供を通じて、地域の対策を促進。
2. 海洋ごみに関する政策及び関連研究に係る各国の情報交換を促進。2017年日本において第3回ワークショップが開催されることを確認。
3. TEMM18において新たに立ち上げた、中国をはじめとする環境技術のニーズと日本などが持つ環境技術のマッチングを促進する「技術ネットワーク」について、韓国で第一回環境技術展および環境技術セミナーを実施し、先進的な環境技術について情報交換。